



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,065	2.8	559	△46.0	523	△46.0	282	△59.0
2019年3月期第1四半期	14,655	7.0	1,036	4.6	969	22.6	687	37.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 131百万円 (△48.8%) 2019年3月期第1四半期 256百万円 (△69.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	27.76	—
2019年3月期第1四半期	67.68	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	76,459	32,977	40.1	3,020.59
2019年3月期	75,906	33,591	41.3	3,082.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,691百万円 2019年3月期 31,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	31,000	5.3	2,200	6.6	2,100	4.7	1,400	12.9	137.78
通期	64,000	7.4	5,100	17.5	5,000	19.8	3,000	16.2	295.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	10,684,321株	2019年3月期	10,684,321株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	523,435株	2019年3月期	523,435株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	10,160,886株	2019年3月期1Q	10,152,012株

（注）当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の景気は、米中貿易摩擦や中国経済の減速など、海外情勢に起因した輸出や生産の落ち込みが懸念材料となり、半導体や自動車などの製造業を中心に、先行きに不透明感が高まりました。また、日本政府が発表した6月の月例経済報告によると、国内景気の全体感を「輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している」と据え置き、今後も通商問題の動向が与える影響に注意を払うとしています。

化学業界においては、2019年第1四半期(1-3月期)の国産ナフサ価格が41,200円/kgとなり、2017年第3四半期(7-9月期)以来、6四半期ぶりの下落となりました。米国によるイラン制裁など中東情勢が緊迫しており、当社製品に影響を与える原油価格動向は引き続き注視されます。

このような市況のもと、当社は5カ年経営計画「REACT1000」の最終年度に入りました。今年度は、有終の美を飾るべく、生産部門「スマート化」、営業部門「最適な事業ポートフォリオの構築」、研究部門「開発スピードの加速」、管理部門「社員幸福度経営の推進」にそれぞれ取り組みます。更には、昨年参入を果たしたライフサイエンス事業の実績化を着実に推し進め、未来の礎づくりに着手してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、『機能材料』セグメントのIT・電子用途の光硬化樹脂用材料が顕著に伸長しましたことから、売上高は150億65百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

損益面につきましては、『機能材料』セグメントのIT・電子用途等を中心とした高付加価値品の売上高が顕著に伸長しましたが、本年のゴールデンウィークが天皇即位の礼などにより10連休の超大型となったことで、工場の操業度が大幅に低下しました。このため製品の単位あたり固定費の負担が大きくなったことが利益を圧迫し、営業利益は5億59百万円(前年同期比46.0%減)、経常利益は5億23百万円(前年同期比46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円(前年同期比59.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて低迷しました。

国内では、IT・電子用途は順調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途はやや低調に推移し、トイレタリー用途、機械・金属用途は低調に推移しました。石鹼・洗剤用途は低迷しました。

海外では、繊維用途、ゴム・プラスチック用途、塗料・色材用途はやや低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は47億46百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

営業利益は、石鹼・洗剤用途を中心に売上高が低迷したことにより、1億41百万円(前年同期比63.3%減)となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途が低調に推移し、シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途がやや低調に推移しました。セルロース系高分子材料は医薬品用途が堅調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途及び化粧品用途がやや低調に推移しましたが、セルロース系高分子材料は食品用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は20億73百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

当セグメントは海外向けシヨ糖脂肪酸エステルの売上高がやや低調に推移したことにより、68百万円の営業損失(前年同期は75百万円の利益)となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

土木・建築用材料は低迷し、フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は低調に推移しましたが、土木用薬剤は大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は22億52百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

当セグメントは土木・建築用材料の売上高が低迷したことにより、91百万円の営業損失(前年同期は48百万円の損失)となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて顕著に伸長しました。

国内では、難燃剤はゴム・プラスチック用途がやや低調に推移しましたが、光硬化樹脂用材料はI T・電子用途が顕著に伸長しました。

海外では、難燃剤はゴム・プラスチック用途が伸長し、光硬化樹脂用材料はI T・電子用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は48億85百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

営業利益は、臭素系難燃剤の原材料価格の上昇に対する値上げが間に合わず、5億22百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて伸長しました。

射出成形用ペレットはやや低調に推移しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストは好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は11億7百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

営業利益は、売上高の伸長により56百万円(前年同期は12百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は396億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億67百万円増加しました。これは主に現金及び預金が5億7百万円、受取手形及び売掛金が3億38百万円増加しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が7億14百万円減少したことによるものです。固定資産は368億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億85百万円増加しました。これは主に投資有価証券は2億16百万円減少しましたが、ウレタンシステム製造設備の建設等により有形固定資産が5億57百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は764億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億53百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は266億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億96百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が11億16百万円減少しましたが、短期借入金が31億47百万円増加したことなどによるものです。固定負債は168億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億29百万円減少しました。これは主に長期借入金が14億13百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は434億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億66百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は329億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億13百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億82百万円及び配当金7億11百万円などにより利益剰余金が4億29百万円減少し、また株価の下落によりその他有価証券評価差額金が1億97百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は40.1%(前連結会計年度末は41.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月25日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,485	7,993
受取手形及び売掛金	17,872	18,211
商品及び製品	9,456	8,519
仕掛品	29	30
原材料及び貯蔵品	2,451	2,672
前払費用	276	352
その他	1,803	1,864
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	39,361	39,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,955	10,833
機械装置及び運搬具(純額)	5,353	5,290
工具、器具及び備品(純額)	559	570
土地	9,182	9,176
リース資産(純額)	568	797
建設仮勘定	3,104	3,613
有形固定資産合計	29,724	30,282
無形固定資産		
のれん	871	822
その他	477	491
無形固定資産合計	1,348	1,314
投資その他の資産		
投資有価証券	4,037	3,820
長期貸付金	268	268
長期前払費用	232	213
繰延税金資産	91	81
退職給付に係る資産	569	578
その他	277	278
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,472	5,234
固定資産合計	36,545	36,831
資産合計	75,906	76,459

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,926	11,810
短期借入金	6,604	9,751
リース債務	227	260
未払費用	251	306
未払法人税等	704	307
未払事業所税	37	9
賞与引当金	678	530
その他	2,790	3,639
流動負債合計	24,220	26,616
固定負債		
長期借入金	16,862	15,448
リース債務	497	679
繰延税金負債	298	299
退職給付に係る負債	98	104
資産除去債務	73	73
その他	264	259
固定負債合計	18,095	16,865
負債合計	42,315	43,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,237	7,237
利益剰余金	15,934	15,505
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	30,998	30,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	△169
為替換算調整勘定	26	31
退職給付に係る調整累計額	271	259
その他の包括利益累計額合計	325	122
非支配株主持分	2,266	2,285
純資産合計	33,591	32,977
負債純資産合計	75,906	76,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,655	15,065
売上原価	10,903	11,605
売上総利益	3,752	3,460
販売費及び一般管理費	2,715	2,900
営業利益	1,036	559
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	11
持分法による投資利益	13	15
その他	20	20
営業外収益合計	39	49
営業外費用		
支払利息	53	47
その他	53	39
営業外費用合計	106	86
経常利益	969	523
特別利益		
関係会社株式売却益	141	—
特別利益合計	141	—
特別損失		
固定資産処分損	15	20
特別損失合計	15	20
税金等調整前四半期純利益	1,095	502
法人税、住民税及び事業税	150	114
法人税等調整額	193	48
法人税等合計	344	162
四半期純利益	750	340
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	687	282

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	750	340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	△197
為替換算調整勘定	△235	△6
退職給付に係る調整額	△5	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	6
その他の包括利益合計	△494	△208
四半期包括利益	256	131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	78
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,416	2,023	2,188	3,978	1,048	14,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,416	2,023	2,188	3,978	1,048	14,655
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	385	75	△48	611	12	1,036

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,746	2,073	2,252	4,885	1,107	15,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,746	2,073	2,252	4,885	1,107	15,065
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	141	△68	△91	522	56	559

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。